30th

Handbell Care30th Anniversary

株式会社ハンドベル・ケア

30周年記念誌

30th

Handbell Care
30th Anniversary

株式会社ハンドベル・ケア

30th

Brave & Challenging

未来に向けて

30年の歩み、そしてこれからへ。

勇敢で挑戦的な心で築き上げた未来への架け橋。

共に歩んだ感謝と誇りを込めて。

Brave & Challenging 未来に向けて、

新たな一歩を踏み出します。

目次

祝辞：IMSグループ 中村 哲也 会長 ・・・・・・・・・・・・・・ 4

挨拶：株式会社ハンドベル・ケア 東 靖隆 社長 ・・・・・・・ 5

祝辞：IMSグループ 清水 喜人 総局長 ・・・・・・・・・・・・ 6

挨拶：株式会社ハンドベル・ケア 伊藤 久雄 副社長 ・・・・ 6

株式会社ハンドベル・ケア　管理者一覧 ・・・・・・・・・・・・ 7

30年のあゆみ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

データで振り返るハンドベル・ケア ・・・・・・・・・・・・・・・ 10

歴代　社長・看護部長・施設長・所長・営業長 ・・・・・・・・ 11

ハンドベル・ケアの人材育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

永年勤続者　一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

創立30周年
ご祝辞

株式会社ハンドベル・ケア 30周年を記念して

IMSグループ 会長　中村 哲也

このたびは、株式会社ハンドベル・ケア創立30周年おめでとうございます。

ハンドベル・ケアは1988年アイル研究所の介護事業部門として発足しましたがこれからの介護需要を鑑み1989年株式会社ハンドベル・ケアとして板橋区小豆沢に独立した会社として開設致しました。介護用品の店頭販売からグループの介護商材全般の仕入れ販売を担うようになり質が高く安価な商材の提供にてグループ貢献し会社を発展させそのノウハウでグループ外の病院・施設に販売を拡大させてきました。

また、病院・施設の機能分化とともに長期滞在型高齢者施設や在宅看護・介護の需要が高まり有料老人ホーム・看護多機能事業所と2023年には埼玉県三芳町にグループホームを開設しました。病院が完結型医療から機能分化連携型医療・介護体制に変化する中で自由度高く満足度の高いサービスを望む高齢者や在宅での生活を望む高齢者及びその家族に対してグループの病院・施設の受け入れ先としての役割を果たしてくれています。

介護業界は高齢化とともに需要は増しますが人口減少・少子化にて担い手である看護・介護人材の確保が困難になってきています。

医療はDPC制度により診療の標準化と科学的で根拠のある医療が普及しつつありますが介護においては未開拓の領域であると感じます。厚生労働省が導入推進するLIFEなどを活用しIMSグループの知己を結集し科学的介護推進の先駆的役割を担っていただき質と満足度の高い看護・介護の提供を実現して欲しいと強く期待致します。

また、介護分野は医療と比べ事業の自由度が高く高齢者及び家族の抱える問題を解決する自費サービスの提供やこれから増える団塊世代が望むレクリエーションにも力を入れて欲しいと思います。

物販部門においては、今までの営業スタイルにとらわれず、ITを駆使しAIを活用分析しDXにて効果的な営業形態を構築し優勝した慶應義塾高等学校野球部のように状況判断力の高い営業人材を育成し多くの課題を抱える病院・介護施設をサポートしていただくことをお願い致します。

株式会社ハンドベル・ケアの益々のご発展に向けて更なるchallengeをしていくことを強く期待致します。

株式会社ハンドベル・ケア創立30周年 「Brave & Challenging 未来に向けて」

株式会社ハンドベル・ケア 社長　東 靖隆

株式会社ハンドベル・ケアは令和5年10月に創立30周年を迎えました。

IMSグループの各病院・施設からの支援、ご協力を頂き創設期・成長期・熟成期を経て先輩方の適切な運営により現在に至っております。改めて皆様に心から感謝申し上げます。

しかしながら現代はVUCA（変化が激しく不確実で複雑で曖昧）の時代と呼ばれ未来に向けての取り組みをしていかなければ取り残され過去の成功体験は通用しなくなるといわれています。

医療介護業界は問題・課題が多く少子化と人口減少による看護・介護の人手不足とともに人件費の上昇が経営を圧迫していくことが予想されます。また、これから入居対象として増えていく団塊世代の多様な価値観に基づく個々のニーズに応えるためには根拠のある説明と同意を得ていく必要性が高く更に労力が増していくことが予想されます。

物販部門ではIMSグループの病院・介護施設での現場での評価を創立30周年とともに導入した管理ツールを用い幅広く正確な商品情報を収集しお客様のニーズに添った高い提案力で労力軽減・省力化商材を導入ノウハウも含め提供し人手不足のサポートをしていきます。また、営業管理ツールを人材育成にも活用しデータに裏付けされた根拠のある営業を推進し自走していける人材を育成し人材と情報力を武器に競合他社との差別化を図ります。

また、有料老人ホーム・看護多機能事業所においては積極的に労力軽減・省力化商品や記録や教育の効率化をもたらすIT機器を導入しLIFEデータを有効活用し効率よく質が高く無理の無い労務体制を構築し団塊世代の個々のサービスニーズに応えていきます。

新たな戦略としては、ケアマネジャーを養成し居宅介護支援事業所を開設し在宅営業部門や看護多機能事業所及びIMSグループ病院・施設との連携を強化するとともに介護保険適用外のニーズの高い自費サービスの提供や後見人・相続・遺産処分といった高齢家族が抱える諸問題を解決する相談サービス部門を開設し社会貢献していくとともに以下の基本理念に基づき株式会社ハンドベル・ケアの信頼を高めていきます。

基本理念

・「お客様のニーズに応え多様で深みのある販売をめざします。」

・「高齢者のニーズに応え満足度の高い看護・介護サービスを提供し高齢者が豊かな老後生活を営めるように努めます。」

今後も関係各位の変わらぬご指導、ご協力を受け賜わりますようお願い申し上げます。

株式会社ハンドベル・ケア 創立30周年に寄せて

IMSグループ 本部事務局 総局長　清水 喜人

株式会社ハンドベル・ケアの創立30周年、誠におめでとうございます。

この節目の30年に、我が国の保健福祉行政を振り返りますと、急速な高齢化の進行や疾病構造の変化に対応するために様々な施策が講じられています。1990年代にはゴールドプランの策定により、官民一体となった介護基盤の整備が進み、2000年代には介護保険制度の導入。そして2010年代には地域包括ケアシステムへの取り組みがスタートし、ケアの質と効率性の向上が求められるようになりました。

こうした社会変化の中、株式会社ハンドベル・ケアは、介護用品販売・レンタル・在宅介護などの介護事業を中心に確かな実績を築き上げ、現在では、有料老人ホーム・グループホームなどへ事業を拡大していただきました。これまでの地域密着による積極的なサービス提供への取り組みに、感謝申し上げます。

そして、将来に向けては、少子高齢化の進展や生産年齢人口の減少など、より厳しい社会環境が予測されますが、引き続きIMSグループとともに歩み、新たな価値を創造し、未来に繋ぐ道を切り拓いていただくことを期待しています。

今後の株式会社ハンドベル・ケアの益々の発展と成長、一層のご活躍を心より祈念しています。

株式会社ハンドベル・ケア 創立30周年を迎えるにあたり

株式会社ハンドベル・ケア 副社長　伊藤 久雄

創立30周年を迎える運びとなりました。これもひとえに皆様方の厚いご支援、ご愛顧の賜物でございます。ここに心より感謝を申し上げます。

創業中村哲也会長先生の先見の明があって、介護福祉用品・施設備品販売で2025年からの超高齢者社会、2042年には高齢者数がピークを迎えると予測されています。要介護高齢者が増加し続ければ、福祉用具のニーズも今後さらに増加が予想されます。

また、有料老人ホーム経営や厚生労働省が2003年から推進しております「地域包括ケアシステムの構築」にて看多機、認知症グループホームを展開。市場規模は引き続き拡大、市場環境は追い風です。

2011年東日本大震災、2019年末新型コロナウイルス感染症、IMSグループのバックアップのもと幾多の苦難を乗り越えて拡大が続きます。

これを機に、時代のニーズやご利用者様及びそのご家族様が求めるものに応じたサービス向上に努め、お客様そして社員にとってさらに魅力ある企業となるよう、なお一層努力してまいります。また、社員が活き活きと働き常に成長し続けることで、ハンドベル・ケアの企業価値を次世代に繋ぎ、更なる介護福祉事業の維持・発展に貢献します。

今後ともご指導、ご鞭撻ならびにご高配を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社ハンドベル・ケア　管理者一覧

管理部門

ハンドベル・ケア　本社

代表取締役	東 靖隆 社長
取締役	伊藤 久雄 副社長
看護部長	藤塚 隆子
総務課責任者	野村 太一郎 課長
経理課責任者	成田 ひろみ 係長

物販部門

ハンドベル・ケア　東京支店

支店長	中野 大輔 課長
施設営業責任者	荒川 准輔 主任
在宅営業責任者	五郎丸 尚史 係長
営業事務統括責任者	島嵜 朋之 係長
施設営業事務責任者	齋藤 昌美 主任
在宅営業事務責任者	池田 理代子 副主任

ハンドベル・ケア　横浜営業所

所長	鈴木 裕之 係長
施設営業責任者	工藤 大視 副主任
在宅営業責任者	向井 梨紗 係長
営業事務責任者	高原 翠 副主任

ハンドベル・ケア　千葉営業所

所長	和久井 太郎 係長
施設営業責任者	大島 賢士 主任
在宅営業責任者	藤崎 征史 主任
施設営業事務責任者	頼本 浩美 副主任

ハンドベル・ケア　埼玉営業所

在宅営業責任者	菅野 英潤 主任
営業事務責任者	豊田 望 主任

介護付有料老人ホーム部門

アイムス赤羽

施設長	宮崎 匡章 課長
看護部責任者	小林 純子 係長
介護部責任者	堀内 伸一郎 係長

アイムス蓮根

施設長	山田 亮介 課長
看護部責任者	小笠原 浩 主任
介護部責任者	山崎 達仁 係長

アイムス旭山公園

施設長	阿久津 孝雄 係長
介護・看護部責任者	小林 伸之輔 係長

看護小規模多機能型 居宅介護・グループホーム部門

ケアピリカみさと

看護小規模多機能型居宅介護所長	清水 毅 係長
リハビリ部門責任者	小林 亜矢子 係長

ケアピリカ横浜港南

看護小規模多機能型居宅介護所長	横溝 典子 係長
訪問看護ステーション所長	相羽 徳子 一般
事務部門責任者	桑名 聖美 副主任

ケアピリカみよし

統括所長	桑原 洋一 課長
グループホームホーム長	佐藤 美奈子 課長
看護小規模多機能型居宅介護所長	北島 恵里 主任

30年のあゆみ

沿革

時を重ね、心と共に歩んだ30年。

挑戦と経験、笑顔と涙。

福祉の道を築き上げた、私たちの30年の軌跡。

1988年

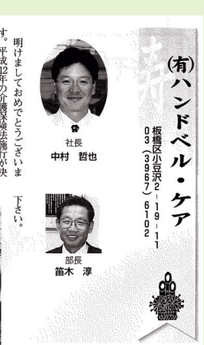
- 株式会社 板橋中央臨床検査研究所の介護事業部として発足。

1989年

- 板橋区小豆沢に介護用品店舗、本店開設。
- 横浜市緑区に介護用品店舗、横浜店を開設。

1993年

- 介護用品事業の企業体質の確立を図るため株式会社 板橋中央臨床検査研究所より独立、有限会社ハンドベル・ケアを設立。


(有)ハンドベル・ケア
板橋区小豆沢2-19-11
03(3967)6102
明けましておめでとうございます。平成12年の介護保険法施行が決定し、今や政治、行政、医療界そして下さい。
社長 中村 哲也
部長 笛木 淳

1994年

- 松戸市新松戸に介護用品店舗、千葉店を開設。

2000年

- 株式会社に変更。
- 居宅介護支援事業所として指定される。

1998年

- 板橋区小豆沢に在宅介護事業部、事業所を開設。
- 訪問介護サービスを開始。

2003年

- 横浜店を横浜市緑区より旭区に移転。

2005年

- 介護付有料老人ホーム「アイムス蓮根」開設。
- 介護付有料老人ホーム「アイムス旭山公園」取得。

2006年

- 訪問マッサージサービスを開始。

2007年

- 「アイムス旭山公園」をリニューアルオープン。
- 介護付有料老人ホーム「アイムス赤羽」開設。

2011年

- 業務拡充に伴い、本社機能を同管内に移転。

2013年

- 業務拡充に伴い、千葉店を同管内に移転。

2014年

- 看護小規模多機能型居宅介護「ケアピリカ横浜港南」開設。
- 在宅介護事業部を閉所、「クローバーのさと」に統合。

2016年

- 看護小規模多機能型居宅介護「ケアピリカみさと」埼玉県三郷市に開設。
- 横浜店を横浜営業所に、千葉店を千葉営業所にそれぞれ名称を変更。

2017年

- 横浜営業所を横浜市旭区より青葉区に移転。

2020年

- 板橋店を東京支店に統合。
- 業務拡大に伴い、東京支店、本社を板橋区小豆沢より板橋区舟渡に移転。

2023年

- 看護小規模多機能型居宅介護・認知症対応型グループホーム「ケアピリカみよし」埼玉県三芳町に開設。

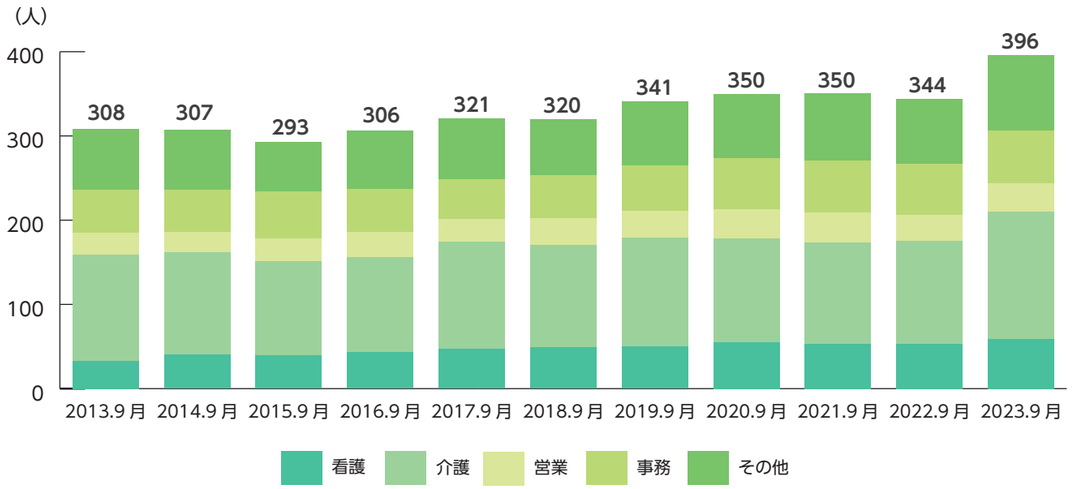
2024年

- 埼玉営業所を埼玉県富士見市に開設。

データで振り返る ハンドベル・ケア

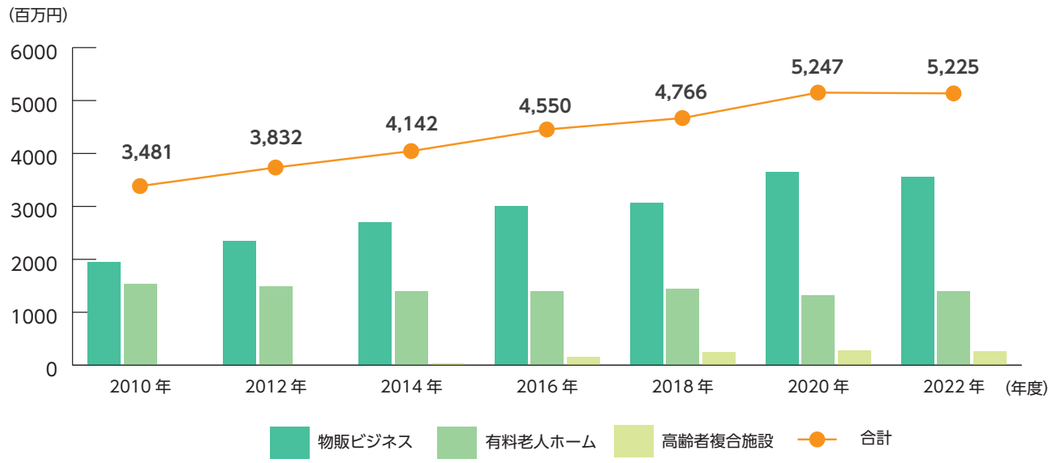
職員数の推移

看護・介護職員はIMSグループからの支援のおかげで安定雇用にて過去10年間で約50名増、営業職のリクルートには苦慮しているが2022年より新卒入職にて8名増となっている。



3事業の売上推移

物販売り上げは大口商材(機械浴・ベッド等)が順調に売り上げを伸ばし過去12年で約16億円増、有料老人ホームは競争激化し売り上げ変わらず、高齢者複合施設は、運営ノウハウの熟成と施設増にて過去8年で約2億3千万円増、全体では約17億5千万円増となっている。



歴代　社長・看護部長・施設長・所長・営業長

代表取締役　社長

1993/10/1	中村 哲也
2001/10/1	中村 尚子
2004/10/1	牛木 和人
2012/3/21	伊藤 久雄
2019/4/1	晴山 浩
2022/2/21	東 靖隆

看護部長

2011/3/16	丹野 宏美
2015/3/16	藤塚 隆子

営業マネージャー

1989/9/11	田中 国広
1995/6/21	笛木 淳
1999/6/1	牛木 和人
2009/4/1	森田 一猛
2017/5/21	渋谷 毅
2017/8/21	中野 大輔

アイムス蓮根　施設長

2005/7/1	玉生 嶺里
2005/10/11	岩下 正二
2006/5/21	宮崎 匡章
2013/3/21	守屋 和夫
2015/11/21	大山 悦男
2017/4/21	山田 亮介

アイムス旭山公園　施設長

2005/8/1	齋藤 修一
2011/4/1	菅谷 博之
2012/4/14	金澤 欣哉
2014/6/1	伊藤 和正
2020/3/21	阿久津 孝雄

アイムス赤羽　施設長

2007/7/1	山本 晃弘
2013/3/21	宮崎 匡章

ケアピリカ横浜港南　所長

2014/1/21	宮内 千賀子
2015/5/1	田口 恵美子
2017/1/21	新井 さやか
2017/7/1	相羽 徳子
2023/3/21	横溝 典子

ケアピリカみさと　所長

2016/2/21	椎名 隆寿
2016/7/1	桑原 洋一
2022/4/1	清水 毅

ケアピリカみよし　所長

2023/6/1	桑原 洋一

前社長 ごあいさつ

株式会社ハンドベル・ケア 前社長

晴山 浩

株式会社ハンドベル・ケア貴社におかれましては、創立30周年おめでとうございます。

施設長、所長、支店長、部門長や所属長がそれぞれ目標や理想を宿し何時でも邁進して頂き深謝に尽きませんでした。

そのなかで運営会社として自分として立ち位置を毎日熟考させられたのは2020年からの新型コロナウイルス感染症だったと思います。

特に当時は北海道札幌市の感染症拡大の状況とアイムス旭山公園の施設対応は本当に大変でしたが当初より本社藤塚看護部長は日夜連携対応し、それ以降各施設や営業所との対応や相談、職員社員のご家族へのアドバイスやIMSグループ本部看護部からの情報提供まで対応して頂きました。

これからも地域のお客様と共に各施設や営業所のますますのご発展をお祈り申し上げます。

ハンドベル・ケアの人材育成

看護部長 ごあいさつ

株式会社ハンドベル・ケア 介護事業本部看護部長
藤塚 隆子

在宅における介護・看護の役割は、ご本人とご家族等が普通に日常生活・社会生活を継続できるように支援することです。それは、「お客様」を全人的・包括的に多職種でアセスメントし、プランニングしてサービス内容を提案。合意のもとにそのサービスを提供していくことです。ハンドベル・ケアの看護部は、固定チームナーシングを通して、そのマインドを育成し、考えて判断して行動できるように取り組んでいます。

人生100年。団塊世代がすべて後期高齢者になる2025年以降、在宅における介護や看護のケア要員はさらに必要不可欠な存在となります。加えて求められる知識や技術は、これまで以上に高度なものになってくるでしょう。すぐに医師の診断や検査に頼ることができない在宅ケアこそ、実践者としての介護・看護の最先端と考えます。医療と違って、介護は、日常を生きていく・生活していくための支援ですから、一人ひとりのニーズに合ったサービスが必要です。既成概念にとらわれない、柔軟な考えで自費も含めた新たなサービスを構築できるようにしていきたい。

また、医療費の抑制は加速する一方ですから、在宅ケアの実践者としての幅を広げ、ますます多様化するニーズに応えられるように、精進が必要です。

介護職では、喀痰吸引等ができる介護職員の育成・認知症実践リーダーや認知症介護専門士など専門性が高いケアの実践と指導ができる人材の育成。看護職では、胃ろうのボタン交換や脱水時の補液開始・褥瘡の壊死組織の除去・感染にかかる薬剤投与などの特定行為ができる看護師の育成が次の課題と考えています。

働き手の減少に伴い、労力軽減につながるツールを効果検証して使いこなしていくことも喫緊の課題です。実際のケアの実践にかかる時間や人材を増やすためには、記録時間の削減や、研修企画・管理、お客様のアセスメントの標準化などが必要です。そのために音声データ記録や、バイタル測定値の自動入力機能を持った測定器、研修の企画管理機能を持った動画研修コンテンツの導入、バイタルサインを感知する見守り支援システムなどを適材適所に配置して、職員が働きやすい環境を整備していくことが重要だと感じています。

ー 資格取得者

資格	取得者
認知症介護実践者	14名
認知症介護実践リーダー	アイムス蓮根　深井 光・ケアピリカみよし　佐藤 美奈子・アイムス赤羽　辰市 大和
ユニットリーダー	アイムス赤羽　白龍 真由美
認知症ケア専門士	1名
認定看護管理者	1名
たんの吸引等特定行為従事者	18名
医療的ケア教員（看護師）	11名
実習指導者（介護）	7名
実習指導者（看護）	1名

ー 学会発表

平成29年度 事例研究発表会
公益社団法人全国有料老人ホーム協会
北海道連絡協議会主催／平成29年2月26日
アイムス旭山公園　細川 和子
我が家で最期を ～その人らしい看取りを目指して～

第38回 CMS学会
平成29年10月1日
ケアピリカ横浜港南　相羽 徳子
退院支援における
看護小規模多機能型居宅介護の役割

平成30年度 事例研究発表会
公益社団法人全国有料老人ホーム協会
北海道連絡協議会主催／平成30年2月25日
アイムス旭山公園　木村 華子　吉田 拓
効果的なスキンケアに関する多職種の連携

第49回 日本看護学会看護管理学術集会
平成30年8月9日
株式会社ハンドベル・ケア　藤塚 隆子　共同研究者として
看護師長・介護長のセルフケア行動から見る
ストレス反応要因
―セルフケアを実践するための支援―

第27回 固定チームナーシング全国研究集会
令和4年2月22日
株式会社ハンドベル・ケア　藤塚 隆子
在宅系介護施設におけるCOVID-19感染症対策
～職員・顧客から業務関連・日常生活での濃厚接触者を出さないために～

第48回 IMS学会
令和4年2月26日
ケアピリカみさと　阿部 新
コロナ禍における看護小規模多機能型居宅介護の
経営維持を振り返って

第22回 東日本事例研究オンライン発表会
令和4年10月
アイムス赤羽　工藤有香里　高橋 やよい
「個別性を追求する看取りケアの実践と現状
～なぜ看取りケアに個別性が必要なのか?～」

第29回 固定チームナーシング全国研究集会
令和5年10月29日
アイムス赤羽　中島 朋子
残存機能を活かすケアの実践
～チームケアで ADL をどこまで維持出来るか?～

各施設単位では、「固定チームナーシング小集団活動成果発表会」と「年間のチーム目標達成に向けた実践報告会」を実施しており、他施設の取り組みをZoomで共有している。

ー 会議・委員会

▷ アイムス4役会

社長・看護部長・施設長・介護長・看護責任者

▷ ケアピリカ　コア会議

社長・看護部長・所長・事務責任者

機能別に看護部長が主催し、看護部長会などの情報を共有、各施設に共通した話題や課題を取り上げて検討。社長から経営的、CS的視点での情報や方針を共有する機会

▷ 合同会議

4役会とコア会議メンバーが一同に会する会議

年1～2回開催

▷ ハンドベル介護責任者会議

佐藤美奈子介護課長（ケアピリカみよしGHホーム長）を責任者として各事業所の介護責任者がハンドベルの介護部門における管理業務に対する学習や、情報共有を行って、マネジメントに関する課題解決を通して管理者の育成・研鑽を進めている

2023年度より自主点検を介護責任者会議のメンバーが持ち回りで点検開始

▷ ハンドベル教育委員会

赤羽の高橋やよい介護主任を責任者に、ハンドベルの事業所の教育体制の整備や課題解決を行っている

また、法令に定められている研修などを中心に、年間の研修計画を立案実施している

ー 研修制度

▷ 新入職者に対して、統一マニュアルによる入職時オリエンテーション

技術チェックリストに沿って個別にプリセプターが中心となって研修を行って、夜勤のひとり立ちを目標にその人のペースで評価して育成していく

入職→早番遅番業務独り立ち→夜勤独り立ち→日々リーダー

▷ 虐待防止・身体拘束防止に関する研修

虐待の芽自主チェックリストの結果を踏まえ、各施設の特徴を生かした研修の企画開催

▷ 管理者研修

役割移行と業務について・目標の設定や評価についてなど

年間計画

10月	接遇について
11月	身体拘束防止
12月	看取りケア
1月	感染対策
2月	事故防止対策
3月	アンガーマネジメント
4月	BCPについて
5月	身体拘束防止・虐待防止
6月	感染対策
7月	急変時の対応
8月	ポジショニング
9月	ハラスメント対策

株式会社ハンドベル・ケア　永年勤続者一覧

	勤務先	職種	ハンドベル在籍年月	役職	氏名
20年以上	アイムス蓮根	介護福祉士	22年5ヵ月	主事	藤原　優子
	千葉店	事務	21年4ヵ月	主事	田中　奈津子
	東京店	事務	21年1ヵ月	主任	齊藤　昌美
	東京店	事務	20年8ヵ月	一般	緑川　直美
15年以上20年未満	アイムス赤羽	事務	19年1ヵ月	施設長（課長）	宮崎　匡章
	東京店	事務	18年7ヵ月	副主任	池田　理代子
	アイムス蓮根	介護福祉士	18年6ヵ月	介護副主任	村岡　弘章
	アイムス蓮根	介護福祉士	18年6ヵ月	介護長（係長）	山﨑　達仁
	東京店	事務	18年3ヵ月	一般	鈴木　亜澄
	アイムス蓮根	介護福祉士	17年8ヵ月	介護副主任	寺坂　竜子
	千葉店	事務	17年3ヵ月	一般	番上　陽子
	アイムス蓮根	事務	17年3ヵ月	主任	郡司　真由美
	アイムス蓮根	営繕	16年11ヵ月	一般	朝長　富美江
	アイムス蓮根	介護福祉士	16年6ヵ月	介護主任	風晴　真樹子
	アイムス赤羽	事務	16年5ヵ月	副主任	三澤　裕美子
	アイムス赤羽	入居相談員	16年4ヵ月	係長	角田　奈美
	アイムス蓮根	介護福祉士	16年3ヵ月	介護主任	田口　明子
	アイムス赤羽	介護福祉士	16年2ヵ月	介護主任	平田　明美
	東京店	営業	15年10ヵ月	係長	五郎丸　尚史
	アイムス赤羽	介護福祉士	15年10ヵ月	介護長（係長）	堀内　伸一郎
	東京店	事務	15年6ヵ月	一般	島田　友貴
	東京店	事務	15年6ヵ月	係長	島嵜　朋之
	千葉店	事務	15年6ヵ月	副主任	頼本　浩美
	千葉店	事務	15年6ヵ月	一般	往古　聖恵
	アイムス赤羽	介護福祉士	15年6ヵ月	介護副主任	金井　美幸
	アイムス蓮根	介護助手	15年3ヵ月	一般	辻本　夏也
	アイムス蓮根	介護助手	15年3ヵ月	一般	齋藤　悦代
	千葉店	営業	15年1ヵ月	所長（係長）	和久井　太郎
	アイムス赤羽	准看護師	15年1ヵ月	一般	沢辺　正己
	アイムス赤羽	介護福祉士	15年0ヵ月	介護副主任	佐藤　欣子
10年以上15年未満	アイムス赤羽	介護助手	14年11ヵ月	一般	杉﨑　由紀子
	アイムス赤羽	看護師	14年1ヵ月	一般	大久保　静香
	アイムス赤羽	営繕	14年1ヵ月	一般	羽島　邦男
	アイムス蓮根	看護師	14年0ヵ月	看護主任	小笠原 浩
	アイムス蓮根	事務	13年11ヵ月	一般	三田地　京治
	アイムス赤羽	介護福祉士	13年11ヵ月	一般	石川 みつ子
	東京店	営業	13年9ヵ月	支店長（課長）	中野 大輔
	アイムス赤羽	看護師	13年7ヵ月	一般	小林　由美子
	アイムス赤羽	介護福祉士	13年7ヵ月	一般	石井　芳枝
	アイムス赤羽	介護福祉士	13年6ヵ月	一般	瀬波　真希子
	アイムス蓮根	介護福祉士	13年3ヵ月	一般	佐藤　久美子
	アイムス赤羽	介護福祉士	13年3ヵ月	一般	矢作　友里
	千葉店	事務	13年2ヵ月	一般	大塚　伸江
	東京店	営業	13年1ヵ月	主任	荒川　准輔
	東京店	営業	13年1ヵ月	係長	向井　梨紗
	東京店	営業	13年1ヵ月	副主任	高田　伸也
	アイムス赤羽	営繕	13年1ヵ月	一般	岩田　美佐子
	横浜店	営業	13年0ヵ月	所長（係長）	鈴木　裕之
	千葉店	営業	12年8ヵ月	主任	藤﨑　征史
	アイムス蓮根	介護福祉士	12年6ヵ月	一般	小出　絹子
	アイムス蓮根	介護福祉士	12年5ヵ月	一般	増子　きよら
	アイムス赤羽	営繕	11年11ヵ月	一般	川島　幸子
	本社	代表	11年6ヵ月	副社長	伊藤　久雄
	ケアピリカみさと	事務	11年6ヵ月	一般	山本　志津子
	アイムス蓮根	介護福祉士	11年5ヵ月	一般	大木　廣江
	東京店	営業	11年2ヵ月	主任	半貫　仁
	アイムス蓮根	介護福祉士	11年1ヵ月	一般	中西　よし子
	アイムス赤羽	准看護師	11年0ヵ月	一般	日南山　未香
	アイムス赤羽	看護師	11年0ヵ月	看護師長（係長）	小林　純子
	アイムス赤羽	介護福祉士	10年6ヵ月	介護副主任	金澤　武郎
	アイムス赤羽	介護福祉士	10年5ヵ月	介護主任	髙橋　やよい

2023年10月1日現在

株式会社ハンドベル・ケアでの長年のご功績に心より敬意を表します

これから益々のご活躍を祈念しますとともに末永くご指導を賜りますようお願い申し上げます